

インドネシア バリ島での狂犬病流行状況

2011年2月22日 ProMED 情報(The Sydney Morning Herald)



バリ Bali 州での狂犬病による死亡患者が増加を続け、当局は、狂犬病はどこでも発生すると述べています。バリ島では、今年に入り少なくとも死亡患者5名が発生し、流行が始まった2008年11月以後で死亡患者の公式報告数は119名になりました。報告が適切に行われていないことにより、実際の死亡患者数はさらに多い可能性もあります。

同州保健担当者によると、狂犬病は、周辺の小島も含めバリ島全土に拡大しています。過去に報告がなかったヌサペニダ Nusa Penida 島においても1月に死亡患者2名が報告されました。

オーストラリア政府は、バリ州やインドネシアのその他の地域を訪問する人々に対し、イヌ、ネコ、サルおよびその他の狂犬病ウイルスを運ぶ動物に直接接触しないように注意喚起しています。さらに、インドネシアでは狂犬病の曝露治療に十分対応できない可能性があり、動物に咬まれた場合には速やかな治療のためにオーストラリアに帰国するか別の国へ移動する必要性があるだろうと述べています。